

決裁区分	部長	課長	課長代理	担当	起案	分類	0・2・4
丙	栗原	志村	志村	石原	久保谷	起案	27・11・25
						決裁	27・11・27
						施行	・

## 秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 本部会	
	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 プロジェクトチーム	
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 27 年度 第 2 回 公共施設等総合管理計画策定 ワーキンググループ	
開催日時	平成 27 年 11 月 25 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 2 時 30 分	
開催場所	東庁舎 1 階会議室	
出席者	公共施設再配置推進課長(グループリーダー)	下水道河川整備課課長代理
	道路管理課主査	下水道総務課主事
	道路管理課主任主事	水道業務課主事
	公園課技師	道路整備課欠席
	事務局   公共施設再配置推進課主査	
議 題	1 将来費用の推計について	
	2 その他	
配付資料	資料 1 将来費用の推計	
	資料 2 将来費用の推計 (道路シミュレーション)	
	資料 3 試算ソフト仕様書抜粋	
	資料 4 次回WGに向けて	
<b>会 議 結 果</b>		
<p>① 各担当課より提出いただいた管理物件の数量により、国が提供する「公共施設等更新費用試算ソフト」を用いて将来費用を推計した(資料1)。推計結果を踏まえ、これからの管理の在り方を考え、総合管理計画をつくりこんでいきたい。</p>		
<p>② 今回の推計では、道路の舗装、上下水道の管及び施設を対象としたが、あくまで機械的に推計をしたものである。</p>		
<p>③ 試算するにあたり、ハコモノは再配置計画を基に条件を設定、その他施設は条件を試算ソフトの初期値としているため、現に有する計画等との差異がみられる。          なお、実績額については、事務局にてそれと思われる数字を仮に使用したものであり、現段階で精査したものではない。</p>		
<p>④ 資料2は、ソフトを用いて、道路におけるソフトの初期設定値と市の実績値とでのシミュレーションをかけた例を示したものである。</p>		
<p>⑤ 設定条件や実績額について、今後どの値を採用していくか精査が必要である。          なお、市独自の値を採用する場合には、ソフトの値との差について、説明することが求められる。</p>		
<p>⑥ 恐らく、不足額が大きく出る結果となるだろうが、秦野市だけに限ったことではない。いかに不足額を縮める努力をしていくか、そういった姿勢を総合管理計画に反映させていくべきものとする。</p>		
<p>⑦ 今日の資料を各課に持ち帰り、今後、推計に対する意見等を集約し精査していく。また、推計を踏まえて管理に対する考え方等について整理しはじめていただきたい。</p>		
<p>⑧ 各施設において、それぞれ個別的計画が策定されているものがあるが、その趣旨や方針と整合を図る必要がある。          下水道 ⇒ 今年度 長期ビジョンの見直しを進めている</p>		
備考		